

音の心理・物理メカニズムと音質評価

聴覚メカニズムの基礎から最近の音質評価の動向まで サンプル音デモあり

日時
2018年 6月22日 (金)
10:30 ~ 16:30

会場 産業科学システムズ会議室 (東京都千代田区富士見1-5-1)

税込受講料

1名 47,520円
2名以上1名 43,200円

講座の概要・POINT 製品音の設計においては、かつての「うるさい音を静かにする」という目的から、現在では製品の高付加価値化を目指して積極的に「デザインする」という発想に変わってきています。音のデザインにあたっては、音質を客観的に評価したり、心理測定法によって定量化したりする技術が必要となります。また、音質の物理評価の原理を理解し、心理評価を適切に実施するためには、それら技術の基礎にある聴覚メカニズムの知識が不可欠です。本セミナーでは、サウンド・デザインを初めて手がける方をはじめ、音質評価技術一般に関心のある方々を対象に、聴覚メカニズムの基礎から最近の音質評価の動向までを概説します。また、近年関心が高まっている、高齢ユーザーを対象とした製品のサウンド・デザインのポイントについても紹介します。

案内図



飯田橋駅下車 各徒歩約5分
JR中央線(緩行線)
地下鉄東西線(A5出口)
地下鉄有楽町線・南北線(A4・B2a出口)
都営地下鉄大江戸線(A4出口)

<お申込要項>

- ・参加ご希望の方は、HP・E-mail・FAX電話、何れかにてお申込ください。
- ・お申込に際し、社名・部署名・受講者名住所・連絡先(TEL・FAX・E-mail)をお知らせください。
- ・お申込次第、受講票・請求書等を発送します。受講料のお支払は銀行振込・当日持参のいずれかをお願いします。
- ・受講料は講座後のお支払いも対応致します。(個人申込除く)
- ・開催日前14日以降のキャンセルはお受けできません。
- ・受講者数が開催基準定員に満たない場合は中止になります。

講師 早稲田大学 人間科学学術院 教授 博士(人間科学)
倉片憲治氏

- ・サウンド・デザイン論
 - (1) サウンド・デザインの目的
 - (2) サウンド・デザインの方法と評価
- ・聴覚の基本特性とモデル
 - (1) 可聴範囲
 - (2) 聴覚閾値と個人差
 - (3) 強さの弁別
 - (4) 周波数の弁別
 - (5) 時間分解能
 - (6) 臨界帯域(聴覚フィルタ)と周波数選択性
 - (7) マスキング
 - (8) 両耳の効果(音源定位、先行音効果など)
- ・音質の物理評価技術
 - (1) ラウドネス(音の大きさ)
 - (2) シャープネス(鋭さ)
 - (3) ラフネス(粗さ)
 - (4) 変動強度
 - (5) 協和性理論
- ・音質の心理評価技術
 - (1) 音の心理評価と生理評価
 - (2) 音質の心理評価の実例
 - (3) 評価手法の選択方法
 - (4) 評価サンプルの収録方法
 - (5) 測定装置・評価者の選定方法
 - (6) 評価測定の実施手順
 - (7) 評価結果の解析方法
- ・製品音のサウンド・デザイン
 - (1) 心地よい音/心地よくない音
 - (2) サウンド・デザインの実践例
- ・サウンド・デザインをさらに追求するために
 - (1) 資料・音源、その他の参考情報
 サウンド・デザインの個別相談も承ります。

お申込・お問合せは

主催 ISS 産業科学システムズ
<http://www.ebrain-j.jp/>

TEL (03)3264-5635 FAX (03)3264-5675
E-mail: education@ebrain-j.com

申込書 FAXは 03-3264-5675

講座参加申込書 音の心理・物理メカニズムと音質評価

セミナーコード

1101-180622

太枠内をご記入の上FAX (03-3264-5675) してください。

2018/6/22 ISS

社名	所在地	〒	電話	()
No.	所属部課(正式名称)	氏名	E-mail	アドレス
			FAX	()
窓口部署			お支払予定	当日ご持参 銀行振り込み
この講座をお知りになった媒体を○で囲んでください パンフ はがき Eメール ホームページ 検索サイト() その他				